

私立認可保育園（本園）の整備について

（付議の要旨）

平成25年4月の認可保育園入園申込者数が過去最高の4,986人となり、本年4月1日の待機児童数の動向が、予断を許さない状況にある。

そのため、区有地を活用した認可保育園の整備を実施する。

1 主旨

喜多見まちづくりセンターの移転に伴い、跡地を活用して、平成26年4月開園を目指して、認可保育園の整備を実施する。

2 整備予定地の概要

（1）所在地：喜多見3-21

（2）敷地面積：708㎡

（3）用途地域：第一種低層住居専用地域、建ぺい率50%、容積率100%
世田谷西部地域喜多見地区地区計画、第二種風致地区ほか

（4）近隣の保育状況等

計画地より半径500メートル圏内の保育施設（別紙参照）

・認可保育園 小梅保育園（喜多見2-10-41-101）

・認可保育園 喜多見バオバブ保育園（喜多見1-4-7）

・認証保育所 喜多見こどもの家（喜多見3-14-6）

喜多見地区の認可保育所の申込者数は増加傾向にあり、待機児童数も増加傾向にあったが、平成24年4月に喜多見バオバブ保育園が開園したこともあり、平成24年4月は、若干減少した。

平成25年4月1日現在の喜多見地区の世帯数、人口とも増加傾向にあり、特に、計画地周辺の喜多見三・四・五・七丁目の世帯数、人口、特に就学前人口も5年前に比べ11.5%増加している。また、喜多見三丁目の一部を範囲とする喜多見東土地区画整理により今後も世帯数、人口の増加が見込まれる。

3 施設整備方法等

（1）区は、旧まちづくりセンターを解体する

（2）私立認可保育園（本園）として整備・運営する

（3）想定定員：70名程度

（4）区は、プロポーザルにより保育運営事業者を選定する

（5）区は、保育運営事業者に事業用定期借地（20年）で貸付ける

（6）保育運営事業者は、施設整備補助制度（安心こども基金を想定）を活用して私立認可保育園を整備する

（7）平成25年度補正予算の成立を条件とする

4 概算経費

解体経費	約22,000千円
整備費補助	約129,814千円

5 今後の予定

(1) 旧まちづくりセンター解体工事

平成25年	7月	解体工事説明会
	7月	解体工事着工
	10月	解体工事終了

(2) 保育園整備

平成25年	4月24日	福祉保健常任委員会報告
	5月下旬	第1回住民説明会(計画概要)
	5月下旬	保育運営事業者公募
	7・8月	運営事業者選定・決定
	9月中旬	第2回住民説明会(事業者紹介、具体的な計画の説明)
	11月下旬	第3回住民説明会(工事説明)
	12月	工事着工
平成26年	3月中旬	工事竣工、開園準備
	4月1日	開園(予定)

6 その他

(1) 子ども計画後期計画で位置づけられている家庭や地域の子育て力の向上や地域住民が保育園のさまざまな行事に気軽に参加できるような地域に開かれた保育施設を目指す。

(2) 今後の保育需要や地域特性などを考慮した施設への展開も視野に入れた計画とする。

整備候補地

区有地 (喜多見 3 - 2 1)

